産業論　(Current Industrial Issues)

専攻	選択・必修	開設時期	単位数	授業形態	担　当
教養	必修	1年前	2	講義	天内和人 宇野俊夫 川井康嗣 小野英輔 森野数博 他

【授業の概要】
豊富な経験をもつ実務経験者の講義を通して、経営の基本、産業構造のしくみ、技術革新、国際化、トップマネージメント、技術者の資質、企業人としてどう生きるべきかなどについて学び、就業意識を高める。

【学修の進め方】
学外から招いた複数の講師に講義を行っていただき、その後、各講義に基づいてレポートを提出する。

【授業の概要】

１.天内　和人：オリエンテーション「技術者に求められる教養とは」
２.宇野　俊夫：(未定)
３.川井　康嗣：外資系企業における英語コミュニケーション能力の重要性について
４.小野　英輔：人を育てる
５.森野　数博：求められる技術者像―専攻科生にもとめられるもの
６.森田　俊一：製造業での経営とは
７.岩崎　正明：(未定)
８.白神　誠一：技術者に求められること
９.久保田　忠義：(未定)
１０.藤本　千鶴：社会人のマナー
１１.井上　直樹：(未定)

☆レポートについて：レポートは次のことに留意して作成し、提出すること。

①毎回のレポートには、必ずA4の用紙を用い、ワープロで打って提出すること。手書きなどのものは一切受け付けない。書式は、横書きで、１行４０文字×３０行の１２００字程度とする。原則として用紙１枚に収めること。
②レポートの最初に「レポートのタイトル」、「専攻」、「氏名」を書くこと。
③講義の内容および講義から得られた知識や情報が簡潔にわかり易くまとめてあること。
④講義から得られた知識をインターンシップを遂行する際や、就職して実際に社会に出る際にどのように生かしていくつもりか等、自分の意見が入っていること。
⑤論旨が明快で、論理的に書かれていること。
⑥表現、漢字、段落分け、句読点などが適切であること。
⑦提出期限を厳守すること。いかなる理由であれ、期限後に出されたものは一切受け付けない。

【到達目標】	社会人となるための必要な知識を得て、インターンシップや就職活動に積極的に取り組むことができること。		
【徳山高専学習・教育目標】	Ｃ２	【ＪＡＢＥＥ基準1(1)】	ｄ－２ｄ
【評価法】	各講師の先生方の講義に基づき提出されたレポートを、それぞれ講師の先生方に評価していただき、レポートの評価の合計点をレポートの回数で割った値を最終評価とする。ただし、提出期限内にレポートの提出がない場合は、その回のレポート点は０点とする。 ※レポートの評価は、以下の評価基準に基づき総合的に行うものとする。 ①書式、スタイル等が指定通りに守られているか。 ②講義の内容および講義から得られた知識や情報が簡潔にわかり易くまとめてあるか。 ③意見が、明快かつ論理的に書かれているか。 ④意見を述べる際の、視点、発想のユニークさ、面白さ、オリジナリティーはどうか。 ⑤表現、漢字、段落分け、句読点などが適切であるか。 ※各講師の先生方には、レポートを以下のA+ 〜 F-で評価していただき、以下の変換レンジに従って点数化するものとする。 A+=100, A=95, A-=90, B+=85, B=80, B-=75, C+=70, C=65, C-=60（以上合格） （以下不合格）F+=50, F=40, F-=30,　未提出=0		
【テキスト】	講義ノートや資料を配付する。		
【関連科目】	インターンシップ(専攻科1年生)、経営管理(専攻科1年生)、経営工学(専攻科2年生)		
【成績欄】	前期中間試験【　　】　前期末試験【　　】　前期成績【　　】　後期中間試験【　　】　後期末試験【　　】　学年末成績【　　】		